

平成23年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

地域の高齢化率が高く、独居、高齢者世帯が多くなってきています。また古くから住んでいる住民と新しく転入してきた住民とのネットワーク作りが課題となっています。今年度は様々な事業、交流を通じてネットワークの構築に取り組んできました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

高齢者や地域住民が定期的に利用する施設として、安全・安心に利用出来るよう、諸設備の定期点検、定期清掃を行いました。また快適に利用出来るよう職員の意識の向上にも努めてきました。

イ 効率的な運営への取組について

光熱費、事務費など常に無駄がないか点検し、効率的に運営できるように努めてきました。労務・経理は法人本部と連携を図り、事務の効率化にも努めました。

ウ 苦情受付体制について

利用者から苦情があった場合は、マニュアルに基づき、迅速に対応しました。また法人としても第三者委員会を設け、職員間でも苦情内容に基づき、業務の振り返りや見直しを行い、改善に努めてきました。

苦情担当者は必要に応じて苦情調査検討委員会を開催し、事実関係や改善策を検討します。その結果は速やかに利用者に説明していきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザ・養護・特養の3施設が、消防計画及び火災対策マニュアルに基づき、対応できる体制としました。また災害時における特別避難場所として物資の維持・管理に努めました。

災害ボランティアネットワークにも定期的に参加し、地域と連携して防災対策に取り組みました。地域の避難所体験にも参加しました。

オ 事故防止への取組について

安全対策については、ハード面で常に危険がないか管理・点検をしました。また事故の危険を事前に察知し、ヒヤリハット報告を提出し情報を共有しました。

事故防止委員会を設置し、事例検討会を進めてきました。そこで事例検討を行いリスクマネジメントの意識向上に努めています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護に関する法令等を遵守し、個人の権利利益を損害することのないよう、個人情報を適切に取り扱ってきました。

新入職員については研修を実施し、誓約書を市に提出しています。

定期的に研修会を実施し、個人情報の取り扱いについて確認をし、またハード面でも、個人情報は施錠出来る書庫にしまうなど、保護を徹底してきました。

キ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じています。

法人のホームページを活用して常に情報をオープンにしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群、科学物質過敏症の対策として公共建築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々喚起を行い、工事の際には、必要な対策を取るなど対応しました。

また節電・節水を職員間で共有し実施しています。車両は出来るだけ利用せず、徒歩・自転車を使用しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名
主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

《目標》

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 介護予防支援のマネジメント業務に関して、実費負担なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

フットワークの軽さをモットーにしています。
気軽にご相談ください。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
139	145	151	149	150	140
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	146	143	147	143	143

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務）	1名
介護支援専門員（常勤専従）	4名
（常勤兼務）	1名

《目標》

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助をめざします。

住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたします。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援をめざします。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上をはかります。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
132	136	137	141	144	141
10月	11月	12月	1月	2月	3月
145	150	148	147	145	146

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 635円
 - （要介護2） 747円
 - （要介護3） 858円
 - （要介護4） 970円
 - （要介護5） 1082円
- 食費負担 650円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:05（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	7名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	18名		

《目標》

介護を必要とする高齢者を対象に、健康チェック・入浴・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんでいただくこと

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
658	679	682	732	713	699
10月	11月	12月	1月	2月	3月
714	692	629	605	584	683

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2 2 1 3 円
 - （要支援2） 4 4 3 2 円
- 食費負担 6 5 0 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10：00 ～ 16：05 （半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	7名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	18名		

《目標》

自立支援—できることの能力を最大限に活かすお手伝いをします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	18	19	18	16	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	17	18	16	16	18

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定してください。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

相談において、高齢者の分野だけでなく、子どもの分野でも「親子であそぼ！withスマイル・ポート」参加者から、自分の子供に発達障害があるとのことで、今後の育児についての相談を受けました。スマイル・ポートと連携をとって、現在もその保護者の見守りを続けています。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

ケアプラザの立地場所が坂の上にあるため、参加者が来やすいように、6月から7月の包括の事業である介護予防講座を交流の事業「脳いきいきトレーニング」のあとに行い、参加者が続けて参加できるように工夫しました。包括と交流の連携の結果、延べ43名の参加がありました。次回の問い合わせもあり、好評でした。

3 職員体制・育成

今年度においては、欠員職員が出ることもなく適正な人数で、順調に事業を遂行することが出来ました。

また月1回内部において部内研修を実施し、職員の育成に取り組んできました。

4 地域福祉のネットワーク構築

横浜市内では、うつ病患者が比較的多いという背景から、自殺予防を地域で支えるという観点で支えあいネットワークで地域向けに勉強会を行いました。自殺も高齢者だけではないという話だけに、参加者も39名と多く、関心の高さがうかがえました。

5 区行政との協働

- ・2か月に1回のケアプラ連絡会に参加し、お互いの活動を共有しました。
- ・区行政との協働という観点から区高齢担当が当ケアプラザ祭りで高齢者体験のブースを担当し、器具を使ってシニア体験や高齢者に関するクイズを実施してくれました。参加者には高齢者の相談窓口のチラシやルーペの配布がありました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 5, 6地区の地区別懇談会に定期的に参加し、そこで地域の課題を共有しました。
- ・ 広報誌は年5回発行。地域に向けてケアプラザの情報を発信しました。
- ・ 6地区の子育て支援情報を収集しカレンダーにまとめ、地域の施設に配布したり、地域のミニコミ紙にのせたり、eネットで配信しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 広報誌に貸室情報をのせてPRを行ったり、民児協やふれあい会の会合などで貸室についてのPRを行い、その結果478名の参加がありました。ただし前年と比べても大幅な伸びとは言えず、さらなる工夫が必要と感じています。

3 自主企画事業

- ・ 男性の料理教室の「ツクタベ会」が4月から自主化。その後も継続的に人数増員のための支援を行いました。
- ・ 4月から認知症予防で月2回「ちょこっとおりがみタイム」という事業がはじまり、好評頂いています。
- ・ 7月に宮谷小で「外国文化とふれあおうペルー編」を開催、14名の参加がありました。会場を小学校で行うことで新たな参加者の発掘につながりました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア交流会を5月に実施し、13名参加。ボランティア同士の意見交換が行えました。
- ・ 広報誌でお祭りボランティアを募集。ボランティアグループ「H&F」や北幸郵便局や浅間町郵便局の参加があり、地域の小さい子向けにヨーヨー救いを担当して頂き、好評でした。
- ・ 区社協ボランティアセンターと連携をとり、ボランティアを5名紹介して頂きました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談支援（総合相談）

- ・ 5, 6地区の民児協へは必ず毎月参加し、顔の見える関係を大切に情報発信を行っています。更に担当地域課題の情報収集に努め、地域に近い民生委員さん、地域住民が気軽に相談できる窓口として活動しています。そのため民生委員からの相談件数も年々伸びています。
- ・ 5地区の地区別懇談会へ参加し地域の問題把握に努めました。また月1回老人会へ参加をし、介護予防普及啓発の講師をしています。結果延べ224名の方と交流をもちケアプラザとして連携強化に励んでいます。

総合相談（実態把握）

- ・ プラザに来る相談は総合相談票に記録し、情報を共有しながら包括全体で対応できるようにしています。相談傾向としては介護保険に関するものが大半を占めますが、介護医療に関する総合的な相談も増えてきています。相談の状況から個別訪問だけでなく、9月には認知症理解に関する内容で地域に向けた講座の開催もしました。また、高齢者おたすけマップ改訂版作成のため地域の協力商店等を調査し、インフォーマルサービスの把握に努めました。

2 権利擁護

権利擁護（権利擁護）

- ・ 権利擁護は成年後見と消費者保護それぞれ別の方法でアプローチしています。
- ・ 成年後見に関してはケアマネジャーを通して相談を受けるケースが多く、内容も簡単には理解しづらいため社会福祉士が個別に訪問し対応しています。
- ・ 高齢者の消費者被害が多発しているという地域情報から、包括として早急な対応の必要性を認識した為、シニアリブインの相談員や民生委員、町内会長に働きかけ出前講座を計5ヶ所で行いました。内容に関しては誰もが分かりやすく印象に残るよう寸劇にし、理解しやすい工夫を取り入れました。特に今年度は未実施であった5地区町内会で実施することができました。

権利擁護（高齢者虐待）

- ・ 高齢者虐待の恐れがあるケースはケア会議や担当者会議を実施し、情報共有をしながら虐待防止ができるよう担当ケアマネジャー・区・民生委員等で役割分担をしながら活動しています。
- ・ 地域による見守り体制構築のため、パンフレットを用い高齢者虐待に関する勉強会を10月に老人会で実施しました。

権利擁護（認知症）

- ・認知症が疑われる方について、必要に応じ本人・家族へ通院をすすめたり同行通院するなどし、確実に専門医に繋げる努力をしています。また、地域の協力と理解を得るため、地域の見守り隊であるふれあい会向けに認知症の理解に対する講座を9月に実施し16名の参加がありました。
- ・西区在住で徘徊の恐れがある高齢者に対し、担当ケアマネジャーや家族に西区徘徊ネットワークを紹介し、登録の支援をしています。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・にこにこしにあセミナーはより多くの方に参加していただきたいという思いから、3会場で実施しました。特に5地区にある西公会堂で初めて実施し、新たな参加者の獲得に努めました。参加者からの評判は良く、継続して欲しいとの声もありました。
- ・にこにこしにあセミナーに限らず、出前講座でチェックリストを実施し二次予防事業対象者の把握に努めました。今年度は10名の登録がありました。
- ・二次予防事業対象者でプログラムに参加されない方、プログラム終了者へも地域の教室や地域交流事業などを促し閉じこもりにならないようアプローチしています。

介護予防ケアマネジメント力

- ・包括・区が行う介護予防ケアマネジメント研修はH23年2月に実施しました。内容についてはチェックリストを上手く活用して予防プランを立てるという内容で行っています。
- ・委託を行っているケアマネジャーとは連携し、担当者会議に出来限り参加をしながら、相談がしやすいように必要に応じて状況確認をしています

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・社協主催の地域住民を交えた部会に参加し、高齢者や障害者に関する地域の課題に地域の方と共に取り組んでいます。また、月1回実施している西区災害ボランティアネットワークの定例会に出席し、ケアプラザとして災害時地域の役に立つよう地域課題把握に努め、支援しています。
- ・区役所と協力しながら月1回実施しているカンファレンスでは、相談で寄せられた内容を基に情報共有し、支援方針や方法を検討しています。

医療・介護の連携推進支援

- ・西区ケアマネ研究会の運営手伝いにアドバイザーとして参加しています。また西区医師会とケアマネジャーによる交流会も実施しています。
- ・病院、家族、本人からの申し出により医療連携を必要とする場合は医療連携室と情報を共有し、地域の方が安心して自宅へ戻り生活が行えるよう病院等に訪問し支援しています。また、医療相談室から介護保険以外の地域におけるサポート情報提供依頼にも応じています。

ケアマネジャー支援

- ・地域のケアマネジャー事務所には定期的に約10か所以上訪問し、相談しやすい関係づくりをすすめています。また、4包括によるケアマネジャースキルアップ研修は毎月実施しており、積極的に新人ケアマネジャー10名にも参加を呼び掛けました。
- ・ケアマネジャーより個別相談があった場合は、必要な職種で個別に同行訪問をしたり、担当者会議に参加し必要なサポートが出来るよう努めています。

介護予防事業

介護予防事業

- ・交流・包括の協働事業として体力向上プログラムの1コースは交流事業の後に組み合わせ、スムーズな流れで介護予防事業に参加できるような試みをしました。
- ・浅間台地域ケアプラザの立地は、高齢者向けの教室を新たに実施するにはやや不向きにて、体力向上プログラムの2コースは地域に出向き実施しました。終了後も地域で実施している教室やケアプラザの事業等で、健康活動が維持できるよう情報提供や個別に紹介をしました。

その他

ハマノ愛生園の施設を知っていただくという目的で、特徴の違う養護老人ホームハマノ愛生園、介護老人福祉施設ハマノ愛生園、浅間台地域ケアプラザ3施設に関し5、6地区民生委員向けに施設見学・勉強会を実施し、33名の参加がありました。当法人の施設は古くから浅間台に設置していますが、なかなか地域の方にはどのような施設があるか分かりづらいようです。今回当施設の特徴を出来るだけ分かりやすく伝える為〇×ゲームを取り入れ説明しました。結果それぞれの施設の特徴を掴むことができたとの感想をいただくことができました。今後も地域に根ざした施設となるため、3施設協力しながら、定期的に地域との交流会を持っていきたいと思っております。

平成23年度 自主事業報告書

浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン 「心の散歩道」	高齢者の自立支援と高齢者の安否確認及び趣味作り。交流の場と福祉保健に関する情報提供	毎月第4水曜日(8月、11月、12月を除く) 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！」	こどもの健全な育成のための支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ	0～1.5歳 毎月第1水曜日(年12回) 1.5歳～未入园児 毎月第2水曜日(年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ！」の活動の支援。子育て支援「親子であそぼ！」の計画・準備・実施	毎月第1、2水曜日 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング講座	認知症予防 音読・計算・漢字の書き取り・簡単な体操	毎月第2、4火曜日 年21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは調理場提供・配達業務補助を行う。	毎月第1～4金曜日 年48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もくよう会	転倒予防の為に体力づくりを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室終了者を対象とした体操。	毎月第2、4木曜日 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虹の会	転倒予防の為に体力づくりを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室終了者を対象とした体操。	毎月第2、4木曜日 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	同じ趣味をもった仲間同士のネットワーク作り	毎月第4月曜日(1月、8月、12月を除く) 年9回

平成23年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざなみ歌の会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)。カラオケから童謡唱歌までみんなで歌う。	毎月第4月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)。童謡唱歌をみんなで歌う。	毎月第2月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふみの会	独居高齢者の社会的交流・ボランティア育成。外出できない高齢者に手紙を送り、社会とのつながりの意識付けを図る。「ふみの会」に携わるボランティアの育成	毎月第4金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっと おりがみタイム	認知症予防。簡単な折り紙をつくる。	毎月第2、4火曜日 年17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 「親子であそ ぼ!withスマイ ルポート	スマイル・ポート職員と子育て情報の提供や親同士の交流の場の提供。自由遊びや読み聞かせ	毎月第3金曜日 年12回

平成23年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者	256,010	129,810	126,200		256,010	
	368人						
	400円						
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者	20,589	3,989	16,600		20,589	
	92人						
	200円						
親子であそぼ！	未入園児・保護者	55,618	55,618	0	6,666	48,952	
	599人						
	0円						
脳いきいきトレーニング	地域住民	0	0	0	0	0	
	451人						
	0円						
ふみの会	高齢者・地域住民	23,650	23,650	0	0	23,650	
	105人						
	0円						
さざなみ歌の会	地域住民	28,974	9,974	19,000	26,664	2,310	
	106人						
	200円						
うたの会	地域住民	26,664	14,542	12,122	26,664	0	
	126人						
	100円						
絵手紙教室	地域住民	29,997	3,297	26,700	29,997	0	
	89人						
	300円						
ちょこっとおりがみタイム	地域住民	0	0	0	0	0	
	159人						
	0円						
子育て支援 「親子であそぼ！ withスマイル・ポート」	未入園児・保護者	0	0	0	0	0	
	193人						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成23年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：浅間台地域ケアプラザ

平成23年4月1日～平成24年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	15,492	22,712	535	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	0	7,901	26,219	75,373	7,701
	その他	0	0	0	72	1,029	10,892	611
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)	0	0	0	0	0	0	0
	経常活動収入(職員等給食費収入他)	0	0	0	72	252	3,214	0
	経常活動収入(利用者等利用料収入・認定調査料他)	0	0	0	0	777	5,330	611
	財務活動等(設備資金借入金元金償還補助金)	0	0	0	0	0	2,348	0
収入合計(A)	15,492	22,712	535	7,973	27,248	86,265	8,312	
支出	人件費	12,687	18,656	0	0	19,662	50,578	0
	事務費	1,071	735	0	104	576	4,121	0
	事業費	427	537	246	0	77	4,932	0
	管理費	1,202	401	0	0	88	9,266	0
	その他	981	521	289	3,614	251	87,651	0
	経常活動(交流事業人件費消費税・予防プラン委託料他)	634	0	0	3,614	251	1,184	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	157	0
指定管理料等返戻金・設備資金借入金元金償還金支出他	347	521	289	0	0	86,310	0	
支出合計(B)	16,368	20,850	535	3,718	20,654	156,548	0	
収支 (A) - (B)	-876	1,862	0	4,255	6,594	-70,283	8,312	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。